



NetApp Consoleを使用したStorageGRID管理

StorageGRID

NetApp
November 26, 2025

目次

NetApp Consoleを使用したStorageGRID管理	1
リリース ノート	2
StorageGRID管理の新機能	2
2025年10月6日	2
2025年5月12日	2
2024年8月7日	2
2022年9月18日	2
NetApp ConsoleでStorageGRIDを管理する際の既知の問題	3
更新された表示名がNetApp Consoleに表示されない	3
アラートのフィルタリング中にエラーが発生しました	3
グリッドフェデレーション接続の編集集中にエラーが発生しました	3
始めましょう	4
NetApp ConsoleにStorageGRIDシステムを追加する	4
StorageGRIDシステムの管理	6
StorageGRIDシステムを表示	6
NetApp ConsoleでStorageGRID証明書を表示および更新する	6
管理インターフェース証明書のステータスを表示する	6
管理インターフェース証明書を更新する	7
NetApp ConsoleのGrid Managerを使用してStorageGRIDを管理する	7
サポートされている構成	7
制限事項	7
グリッドマネージャーに切り替える	8
グリッドマネージャーのヘルプ	9
StorageGRIDでNetAppデータサービスを使用する	9
StorageGRIDシステムを削除する	9
知識とサポート	11
サポートに登録する	11
サポート登録の概要	11
NetAppサポートのためにNetApp Consoleに登録する	11
Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける	13
ヘルプを受ける	15
クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける	15
セルフサポートオプションを使用する	15
NetAppサポートでケースを作成する	15
サポートケースを管理する	18
法律上の表示	19
著作権	19
商標	19
特許	19

プライバシー ポリシー	19
オープンソース	19

NetApp Consoleを使用したStorageGRID管理

リリース ノート

StorageGRID管理の新機能

NetApp ConsoleでStorageGRIDシステムを管理する新機能について説明します。

2025年10月6日

BlueXPはNetApp Consoleになりました

NetApp Consoleは、強化され再構築されたBlueXP基盤上に構築され、オンプレミスとクラウド環境全体にわたるエンタープライズ グレードのNetAppストレージとNetApp Data Servicesの集中管理を提供し、リアルタイムの分析情報、より高速なワークフロー、および高度なセキュリティとコンプライアンスを備えた簡素化された管理を実現します。

変更内容の詳細については、"[NetApp Consoleのリリースノート](#)"。

2025年5月12日

必要なNetApp Consoleアクセスロール

NetApp ConsoleでStorageGRID を表示、検出、または管理するには、次のアクセス ロールのいずれかが必要です: 組織管理者、フォルダまたはプロジェクト管理者、ストレージ管理者、または ストレージヘルス スペシャリスト。"[NetApp Consoleのアクセス ロールについて学習します](#)。"

2024年8月7日

新しい詳細ビュー

StorageGRID 11.8 以降では、使い慣れた Grid Manager インターフェイスを使用して、BlueXPからStorageGRIDシステムを管理できます。

"[詳細ビューを使用してStorageGRIDを管理する方法を学びます](#)"。

StorageGRID管理インターフェイス証明書の確認と承認が可能

BlueXPからStorageGRIDシステムを検出するときに、StorageGRID管理インターフェイス証明書を確認して承認できるようになりました。検出されたグリッド上の最新のStorageGRID管理インターフェイス証明書を確認して承認することもできます。

"[システム検出中にサーバー証明書を確認して承認する方法を学習します](#)。"

2022年9月18日

StorageGRIDのサポート

BlueXPから直接StorageGRIDシステムを検出できるようになりました。StorageGRID を検出すると、ハイブリッド マルチクラウド全体のデータの完全なビューが提供されます。

NetApp ConsoleでStorageGRIDを管理する際の既知の問題

今回のリリースの動作に悪影響を及ぼす可能性がある既知の問題が記載されています。

更新された表示名がNetApp Consoleに表示されない

名前変更手順を使用してサイトまたはグリッドの新しい表示名を定義した場合、新しい表示名はNetApp Consoleに反映されません。NetApp Console内では、新しい表示名ではなくシステム名が引き続き表示されます。

アラートのフィルタリング中にエラーが発生しました

詳細ビューを使用している場合、アラート ページの内容をフィルターするとエラーが発生します。

グリッドフェデレーション接続の編集集中にエラーが発生しました

詳細ビューを使用している場合、グリッド フェデレーション接続を編集するときにゲートウェイ タイムアウト エラーが発生する可能性があります。

始めましょう

NetApp ConsoleにStorageGRIDシステムを追加する

Grid Manager を使用して、 NetApp Consoleから StorageGrid システムを直接管理します。

必要な**NetApp Console**ロール:

ストレージ管理者またはシステムヘルススペシャリスト。"[NetApp Consoleのアクセスロールについて学ぶ](#)"。

開始する前に

次のものがが必要です:

- バージョン 3.9.43 以降を使用するNetApp Consoleエージェント。コンソール エージェントをインストールするには、組織管理者のロールが必要です。組織にコンソール エージェントがあるかどうか分からない場合、またはコンソール エージェントを作成する必要がある場合は、 NetApp Console管理者に問い合わせてください。 "[組織の管理者に問い合わせる](#)"。
- 管理ノードのドメイン名または IP アドレス。
- 管理ノードの管理者資格情報。
- StorageGRIDシステムにインストールされた管理インターフェイス証明書。

["StorageGRIDに管理インターフェイス証明書をインストールする方法の詳細"](#)

手順

- ナビゲーション メニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
- *システム*を選択します。
- *システムの追加*を選択し、*オンプレミス*を選択します。
- * StorageGRID*の横にある*Discover*を選択します。
- コンソールの [StorageGRID Cluster Details] ページで、管理ノードのドメイン名または IP アドレス、ノードの資格情報を入力し、[追加] を選択します。
- コンソールは、 StorageGRID管理インターフェイス証明書を自動的に取得します。 [証明書の承認] ページで、証明書の詳細を確認します。
- 別の証明書を使用するには、まずStorageGRIDシステムで証明書を設定します。
 - オンプレミスのStorageGRIDシステムで、次の手順に従います。 "[StorageGRIDに管理インターフェイス証明書をインストールする](#)"。
 - StorageGRIDシステムで証明書を設定した後、コンソールの [証明書の承認] ページで [キャンセル] を選択します。
 - StorageGRID Cluster Details* ページで、[追加] を選択します。
- 必要に応じて、「証明書のコピー」を選択して証明書の詳細をコピーします。必要に応じて、証明書の詳細を使用して追加の検証を実行できます。
- 次のいずれかを実行します。

- a. 証明書を使用するには、[証明書の承認] を選択します。

NetApp Consoleに成功メッセージが表示され、承認された証明書を検証することで、StorageGRIDサーバーとコンソール エージェント間のすべての通信が保護されます。

- b. 証明書を検証せずに検出プロセスを終了するには、「キャンセル」を選択します。

たとえば、StorageGRID管理証明書を更新する必要があることを通知するエラー メッセージが表示された場合は、[キャンセル] を選択できます。

証明書を更新するには、StorageGRIDシステムにアクセスし、証明書を更新して、NetApp Consoleから検出プロセスを再開します。

StorageGRIDシステムの管理

StorageGRIDシステムを表示

StorageGRIDシステムを検出したら、容量の配分と関連するアラート、ノード、テナントに関する詳細を表示できます。

必要な**NetApp Console**ロール:

ストレージ管理者またはシステムヘルスペシャリスト。"[NetApp Consoleのアクセスロールについて学ぶ](#)"。

手順

1. ナビゲーション メニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. システム ページで、表示するStorageGRIDシステムを選択します。
3. 利用可能なメニュー オプションから選択して、StorageGRIDシステムの詳細を表示します。
 - 概要: システムの容量分布 (使用済み容量と空き容量)、システムアラート、ノード、テナントの数などの詳細ビュー。
 - アラート: アクティブなアラート、解決済みのアラート、サイレント化されたアラートを含むシステムアラートの概要。
 - ノード: 管理ノード、API ゲートウェイ ノード、およびストレージ ノードに関する詳細。これには、使用されたオブジェクト データ、使用されたオブジェクト メタデータ、および CPU 使用率のパーセンテージが含まれます。
 - テナント: 使用されている論理スペース、クォータ使用率、クォータ、オブジェクト数など、テナントに関する重要な詳細。

NetApp ConsoleでStorageGRID証明書を表示および更新する

NetApp Consoleからシステムを検出する前に、StorageGRIDシステムに管理インターフェイス証明書が必要です。証明書は、コンソールとStorageGRID間の安全な接続を提供します。証明書は期限切れになることがあるため、時々証明書のステータスを確認したり、証明書を更新したりする必要がある場合があります。

必要な**NetApp Console**ロール:

ストレージ管理者。"[NetApp Consoleのアクセスロールについて学ぶ](#)"。

管理インターフェイス証明書のステータスを表示する

StorageGRIDシステムの管理インターフェイス証明書のステータスを表示して、証明書がまだ有効であることを確認します。

手順

1. ナビゲーション メニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. システム ページで、StorageGRIDシステムを選択します。
3. 標準ビューでは、ページの右側にある [情報] ペインの下部で、ユーザーが承認した証明書のステータスを

確認します。



証明書のステータスは 24 時間ごとに更新されます。

管理インターフェース証明書を更新する

管理インターフェース証明書のステータスが有効でない場合、または証明書の有効期限が切れたという通知を受け取った場合は、NetApp ConsoleがStorageGRIDに接続できるように証明書を更新する必要があります。

手順

1. StorageGRIDのオンプレミスのグリッドマネージャーにアクセスし、以下の手順に従ってください。
"StorageGRIDに管理インターフェース証明書をインストールする"。
2. NetApp Consoleのナビゲーションメニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
3. システム ページで、StorageGRIDシステムを選択します。
4. その他のオプションアイコン (水平に 3 つのドットがある円) を選択します。



5. *証明書の更新*を選択します。
6. 更新された証明書を使用するには、[証明書の承認] ページで [証明書の承認] を選択します。

NetApp ConsoleのGrid Managerを使用してStorageGRIDを管理する

詳細ビューを使用して、コンソールからStorageGRIDシステムを管理します。このビューを使用すると、コンソールから Grid Manager を使用できます。

必要なNetApp Consoleロール:

ストレージ管理者、またはシステムヘルススペシャリスト。"アクセスロールについて学ぶ"。

サポートされている構成

Grid Manager は、StorageGRID 11.8 以降のコンソールで使用できます。

制限事項

次のグリッド マネージャ操作はコンソールからは使用できません。これらの操作を実行する必要がある場合は、Grid Manager に直接サインインしてください。

グリッドマネージャーメニュー	コンソールから利用できない操作
ユーザ	- サインアウトリンク - APIドキュメントリンク - パスワードの変更
ノード	「ノード」 > 「SANtricity System Manager」 タブからSANtricity System Manager にアクセスできません。 - アラートを表示するときに、推奨アクションのすべてのリンクを選択できない場合があります。たとえば、サポートされていないグリッド マネージャー ページに移動するリンクは機能しません。
テナント	テナントの作成ウィザードまたはテナント ページからテナント アカウントにサインインすることはできません。 コンソールは現在、テナント マネージャーをサポートしていません。コンソールから新しいテナント アカウントを作成することはできますが、テナント ユーザーはコンソールから自分のアカウントにサインインすることはできません。
ILM	保管グレードリンク
構成	- グリッドパスワード - セキュリティ設定 > ブラウザの非アクティブタイムアウト - シングルサインオン - SNMPエージェント > BMCインターフェースのMIBファイル
メンテナンス	- リカバリパッケージ - ソフトウェアアップデート
サポート	- グリッドトポロジー - ログ収集 - Prometheus メトリックと Grafana ダッシュボードへのすべてのリンク - レガシーアラームのすべてのオプション - リンクコスト - NMSエンティティ

グリッドマネージャーに切り替える

StorageGRIDシステムを開き、Grid Manager オプションを選択します。

手順

1. システム ページから、StorageGRIDシステムを開きます。
2. 右上で、[グリッド マネージャーに切り替える] を選択します。
3. Grid Manager を使用してStorageGRIDシステムを管理します。
4. 必要に応じて、[戻る] を選択して、コンソールから標準ビューに戻ります。

グリッドマネージャーのヘルプ

グリッドマネージャの使用に関するヘルプが必要な場合は、["StorageGRIDドキュメント"](#) ステップバイステップの手順についてはこちらをご覧ください。

StorageGRIDでNetAppデータサービスを使用する

NetApp ConsoleでStorageGRIDシステムを検出したら、バックアップ、データ階層化、およびデータ同期にNetAppデータ サービスを使用できます。

- NetApp Backup and Recoveryを使用して、オンプレミスのONTAPシステムからNetApp StorageGRIDシステムのオブジェクト ストレージにデータをバックアップします。

開始するには、システム ページに移動し、オンプレミスのONTAPシステムをStorageGRIDシステムにドラッグ アンド ドロップします。

["オンプレミスのONTAPデータをStorageGRIDにバックアップする方法の詳細"](#)

- NetApp Cloud Tieringを使用して、オンプレミスのONTAPクラスターからStorageGRIDに非アクティブなデータを自動的に階層化します。

開始するには、システム ページに移動し、オンプレミスのONTAPシステムをStorageGRIDシステムにドラッグ アンド ドロップします。

["オンプレミスのONTAPクラスターからStorageGRIDへのデータ階層化の詳細"](#)

- NetApp Copy and Syncを使用して、StorageGRIDシステムとの間でデータを同期します。

開始するには、システム ページに移動し、ソース システムをターゲット システムにドラッグ アンド ドロップします。StorageGRID はソースまたはターゲットのいずれかになります。

["NetApp Copy and Syncの詳細"](#)

StorageGRIDシステムを削除する

NetApp ConsoleからStorageGRIDシステムを管理する必要がなくなった場合は、そのシステムを削除します。

必要な**NetApp Console**ロール:

ストレージ管理者。 ["NetApp Consoleのアクセスロールについて学ぶ"](#)。

コンソールからシステムを削除しても、StorageGRIDシステムには影響しません。いつでもコンソールに再度追加できます。

手順

1. ナビゲーションメニューから、ストレージ > 管理 を選択します。
2. システム ページから、StorageGRIDシステムを開きます。
3. 標準ビューから、メニューアイコンを選択し、*ワークスペースから削除*を選択します。
4. *削除*を選択して確認します。

知識とサポート

サポートに登録する

NetApp Consoleとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、サポート登録が必要です。Cloud Volumes ONTAPシステムの主要なワークフローを有効にするには、サポート登録も必要です。

サポートに登録しても、クラウド プロバイダー ファイル サービスに対するNetAppサポートは有効になりません。クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントの「ヘルプの取得」を参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

サポート登録の概要

サポート資格を有効にするには、次の 2 つの登録形式があります。

- NetApp Consoleアカウントのシリアル番号 (コンソールの [サポート リソース] ページにある 20 桁の 960xxxxxxxxx シリアル番号) を登録します。

これは、コンソール内のすべてのサービスに対する単一のサポート サブスクリプション ID として機能します。各コンソール アカウントを登録する必要があります。

- クラウド プロバイダーのマーケットプレイスで、サブスクリプションに関連付けられたCloud Volumes ONTAPシリアル番号を登録します (これらは 20 桁の 909201xxxxxxxx シリアル番号です)。

これらのシリアル番号は一般に *PAYGO* シリアル番号 と呼ばれ、Cloud Volumes ONTAP の導入時にNetApp Consoleによって生成されます。

両方のタイプのシリアル番号を登録すると、サポート チケットの開設やケースの自動生成などの機能が有効になります。登録は、以下の説明に従ってNetAppサポート サイト (NSS) アカウントをコンソールに追加することで完了します。

NetAppサポートのためにNetApp Consoleに登録する

サポートに登録し、サポート資格を有効にするには、NetApp Consoleアカウントの 1 人のユーザーがNetAppサポート サイト アカウントをコンソール ログインに関連付ける必要があります。NetAppサポートに登録する方法は、NetAppサポート サイト (NSS) アカウントをすでにお持ちかどうかによって異なります。

NSSアカウントをお持ちの既存顧客

NSS アカウントをお持ちのNetApp のお客様の場合は、コンソールからサポートに登録するだけです。

手順

1. 管理 > *資格情報*を選択します。
2. *ユーザー資格情報*を選択します。
3. **NSS** 資格情報の追加 を選択し、NetAppサポート サイト (NSS) の認証プロンプトに従います。
4. 登録プロセスが成功したことを確認するには、[ヘルプ] アイコンを選択し、[サポート] を選択します。

リソース ページには、コンソール アカウントがサポートに登録されていることが表示されます。

他のコンソール ユーザーは、ログインにNetAppサポート サイト アカウントを関連づけていない場合、同じサポート登録ステータスを表示しないことに注意してください。ただし、これはあなたのアカウントがサポートに登録されていないことを意味するものではありません。組織内の 1 人のユーザーがこれらの手順を実行していれば、アカウントは登録済みになります。

既存の顧客だが**NSS**アカウントがない

既存のNetApp顧客であり、既存のライセンスとシリアル番号を持っているものの、NSS アカウントを持っていない場合は、NSS アカウントを作成し、それをコンソール ログインに関連付ける必要があります。

手順

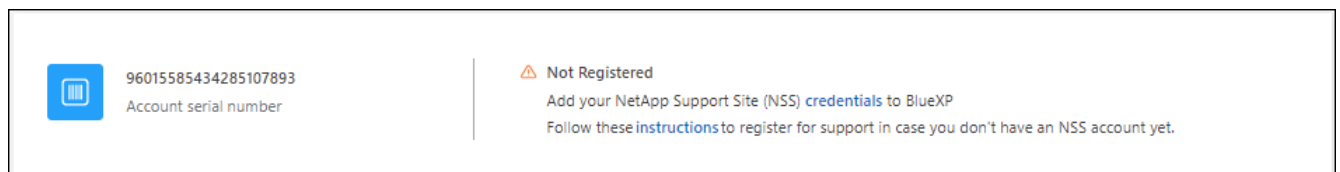
1. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"
 - a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
 - b. 上記で使ったコンソール アカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより、アカウント処理が高速化されます。
2. 以下の手順を実行して、新しいNSSアカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

NetAppの新着情報

NetAppを初めて使用し、NSS アカウントをお持ちでない場合は、以下の手順に従ってください。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。
2. サポート登録ページからアカウント ID シリアル番号を見つけます。



3. 移動先 "[NetAppのサポート登録サイト](#)"私は登録済みの**NetApp**顧客ではありません を選択します。
4. 必須フィールド (赤いアスタリスクが付いているフィールド) に入力します。
5. 製品ライン フィールドで、**Cloud Manager** を選択し、該当する請求プロバイダーを選択します。
6. 上記の手順 2 からアカウントのシリアル番号をコピーし、セキュリティ チェックを完了して、NetApp のグローバル データ プライバシー ポリシーを読んだことを確認します。

この安全な取引を完了するために、指定されたメールボックスに電子メールが直ちに送信されます。検証

メールが数分以内に届かない場合は、必ずスパム フォルダーを確認してください。

7. メール内からアクションを確認します。

確認すると、リクエストがNetAppに送信され、NetAppサポート サイトのアカウントを作成することが推奨されます。

8. NetAppサポートサイトのアカウントを作成するには、"[NetAppサポートサイト ユーザー登録フォーム](#)"

- a. 適切なユーザー レベル (通常は * NetApp顧客/エンド ユーザー*) を選択してください。
- b. 上記で使ったアカウントのシリアル番号 (960xxxx) を必ずシリアル番号フィールドにコピーしてください。これにより処理速度が向上します。

終了後の操作

このプロセス中に、NetAppから連絡が来るはずですが、これは、新規ユーザー向けの1回限りのオンボーディング演習です。

NetAppサポートサイトのアカウントを取得したら、以下の手順を実行して、アカウントをコンソールログインに関連付けます。[NSSアカウントをお持ちの既存顧客](#)。

Cloud Volumes ONTAPサポートに NSS 認証情報を関連付ける

Cloud Volumes ONTAPの次の主要なワークフローを有効にするには、NetAppサポート サイトの認証情報をコンソール アカウントに関連付ける必要があります。

- 従量課金制のCloud Volumes ONTAPシステムをサポート対象として登録する

システムのサポートを有効にし、NetAppテクニカル サポート リソースにアクセスするには、NSS アカウントを提供する必要があります。

- BYOL (個人ライセンス使用) 時にCloud Volumes ONTAP を導入する

コンソールがライセンス キーをアップロードし、購入した期間のサブスクリプションを有効にするには、NSS アカウントを提供する必要があります。これには、期間更新の自動更新が含まれます。

- Cloud Volumes ONTAPソフトウェアを最新リリースにアップグレードする

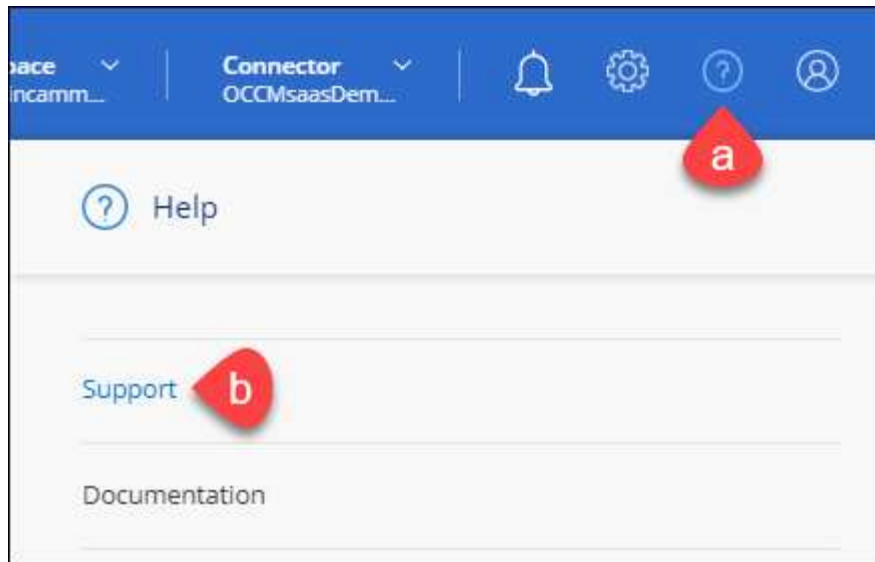
NSS 資格情報をNetApp Consoleアカウントに関連付けることは、コンソール ユーザー ログインに関連付けられているNSS アカウントとは異なります。

これらのNSS 資格情報は、特定のコンソール アカウント ID に関連付けられています。コンソール組織に属するユーザーは、サポート > **NSS** 管理 からこれらの資格情報にアクセスできます。

- 顧客レベルのアカウントをお持ちの場合は、1 つ以上のNSS アカウントを追加できます。
- パートナー アカウントまたは再販業者アカウントをお持ちの場合は、1 つ以上のNSS アカウントを追加できますが、顧客レベルのアカウントと一緒に追加することはできません。

手順

1. コンソールの右上にあるヘルプ アイコンを選択し、サポート を選択します。



2. *NSS管理 > NSSアカウントの追加*を選択します。
3. プロンプトが表示されたら、[続行] を選択して、Microsoft ログイン ページにリダイレクトします。

NetApp は、サポートとライセンスに固有の認証サービスの ID プロバイダーとして Microsoft Entra ID を使用します。

4. ログイン ページで、NetAppサポート サイトに登録した電子メール アドレスとパスワードを入力して、認証プロセスを実行します。

これらのアクションにより、コンソールはライセンスのダウンロード、ソフトウェア アップグレードの検証、将来のサポート登録などに NSS アカウントを使用できるようになります。

次の点に注意してください。

- NSS アカウントは顧客レベルのアカウントである必要があります (ゲスト アカウントや一時アカウントではありません)。顧客レベルの NSS アカウントを複数持つことができます。
- パートナー レベルのアカウントの場合、NSS アカウントは 1 つだけ存在できます。顧客レベルの NSS アカウントを追加しようとしたときに、パートナー レベルのアカウントが存在する場合は、次のエラー メッセージが表示されます。

「異なるタイプの NSS ユーザーがすでに存在するため、このアカウントでは NSS 顧客タイプは許可されません。」

既存の顧客レベルの NSS アカウントがあり、パートナー レベルのアカウントを追加しようとする場合も同様です。

- ログインが成功すると、NetApp はNSS ユーザー名を保存します。

これは、メールにマッピングされるシステム生成の ID です。*NSS管理*ページでは、... メニュー。

- ログイン認証トークンを更新する必要がある場合は、... メニュー。

このオプションを使用すると、再度ログインするよう求められます。これらのアカウントのトークンは 90 日後に期限切れになることに注意してください。これを知らせる通知が投稿されます。

ヘルプを受ける

NetApp は、NetApp Consoleとそのクラウド サービスをさまざまな方法でサポートします。ナレッジ ベース (KB) 記事やコミュニティ フォーラムなど、豊富な無料のセルフ サポート オプションが 24 時間 365 日ご利用いただけます。サポート登録には、Webチケットによるリモートテクニカルサポートも含まれます。

クラウドプロバイダーのファイルサービスのサポートを受ける

クラウド プロバイダーのファイル サービス、そのインフラストラクチャ、またはサービスを使用するソリューションに関連するテクニカル サポートについては、その製品のドキュメントを参照してください。

- ["Amazon FSx for ONTAP"](#)
- ["Azure NetApp Files"](#)
- ["Google Cloud NetApp Volumes"](#)

NetAppとそのストレージ ソリューションおよびデータ サービスに固有のテクニカル サポートを受けるには、以下に説明するサポート オプションを使用してください。

セルフサポートオプションを使用する

以下のオプションは、24 時間 365 日無料でご利用いただけます。

- ドキュメント

現在表示しているNetApp Consoleのドキュメント。

- ["ナレッジベース"](#)

NetAppナレッジベースを検索して、問題のトラブルシューティングに役立つ記事を見つけます。

- ["コミュニティ"](#)

NetApp Consoleコミュニティに参加して、進行中のディスカッションをフォローしたり、新しいディスカッションを作成したりできます。

NetAppサポートでケースを作成する

上記のセルフ サポート オプションに加えて、サポートを有効にした後は、NetAppサポート スペシャリストと協力して問題を解決することもできます。

始める前に

- *ケースの作成*機能を使用するには、まずNetAppサポート サイトの資格情報をコンソール ログインに関連付ける必要があります。 ["コンソールログインに関連付けられた資格情報を管理する方法を学びます"](#)。
- シリアル番号を持つONTAPシステムのケースを開く場合は、NSS アカウントがそのシステムのシリアル番号に関連付けられている必要があります。

手順

1. NetApp Consoleで、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. *リソース*ページで、テクニカル サポートの下にある利用可能なオプションのいずれかを選択します。
 - a. 電話で誰かと話したい場合は、「電話する」を選択してください。電話をかけることができる電話番号をリストした netapp.com のページに移動します。
 - b. NetAppサポート スペシャリストとのチケットを開くには、[ケースを作成] を選択します。
 - サービス: 問題が関連付けられているサービスを選択します。たとえば、* NetApp Console* は、コンソール内のワークフローまたは機能に関するテクニカル サポートの問題に固有の場合です。
 - システム: ストレージに該当する場合は、* Cloud Volumes ONTAP* または **On-Prem** を選択し、関連する作業環境を選択します。

システムのリストは、コンソール組織と、上部のバナーで選択したコンソール エージェントの範囲内にあります。

- ケースの優先度: ケースの優先度 (低、中、高、重大) を選択します。

これらの優先順位の詳細を確認するには、フィールド名の横にある情報アイコンの上にマウスを置きます。

- 問題の説明: 該当するエラー メッセージや実行したトラブルシューティング手順など、問題の詳細な説明を入力します。
- 追加のメールアドレス: この問題を他の人に知らせたい場合は、追加のメールアドレスを入力してください。
- 添付ファイル (オプション): 一度に 1 つずつ、最大 5 つの添付ファイルをアップロードします。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

ntapitdemo 

NetApp Support Site Account

Service

Select ▼

Working Enviroment

Select ▼

Case Priority 

Low - General guidance ▼

Issue Description

Provide detailed description of problem, applicable error messages and troubleshooting steps taken.

Additional Email Addresses (Optional) 

Type here

Attachment (Optional)

No files selected

 Upload 

終了後の操作

サポート ケース番号を示すポップアップが表示されます。NetAppサポート スペシャリストがお客様のケースを確認し、すぐにご連絡いたします。

サポート ケースの履歴については、設定 > タイムライン を選択し、「サポート ケースの作成」というアクションを探します。右端のボタンを使用すると、アクションを展開して詳細を表示できます。

ケースを作成しようとすると、次のエラー メッセージが表示される場合があります。

「選択したサービスに対してケースを作成する権限がありません」

このエラーは、NSS アカウントとそれに関連付けられているレコード会社が、NetApp Consoleアカウントのシリアル番号のレコード会社と同じではないことを意味している可能性があります (つまり、960xxxx) または作業環境のシリアル番号。次のいずれかのオプションを使用してサポートを求めることができます。

- 非技術的なケースを提出する <https://mysupport.netapp.com/site/help>

サポートケースを管理する

アクティブなサポート ケースと解決済みのサポート ケースをコンソールから直接表示および管理できます。NSS アカウントおよび会社に関連付けられたケースを管理できます。

次の点に注意してください。

- ページ上部のケース管理ダッシュボードには、次の 2 つのビューがあります。
 - 左側のビューには、指定したユーザー NSS アカウントによって過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。
 - 右側のビューには、ユーザーの NSS アカウントに基づいて、会社レベルで過去 3 か月間に開かれたケースの合計が表示されます。

表の結果には、選択したビューに関連するケースが反映されます。

- 関心のある列を追加または削除したり、優先度やステータスなどの列の内容をフィルタリングしたりできます。その他の列は並べ替え機能のみを提供します。

詳細については、以下の手順をご覧ください。

- ケースごとに、ケースメモを更新したり、まだ「クローズ」または「クローズ保留中」ステータスになっていないケースをクローズしたりする機能を提供します。

手順

1. NetApp Console で、[ヘルプ] > [サポート] を選択します。
2. *ケース管理*を選択し、プロンプトが表示されたら、NSS アカウントをコンソールに追加します。

ケース管理 ページには、コンソール ユーザー アカウントに関連付けられている NSS アカウントに関連するオープン ケースが表示されます。これは、**NSS 管理** ページの上部に表示される NSS アカウントと同じです。

3. 必要に応じて、テーブルに表示される情報を変更します。
 - *組織のケース*の下で*表示*を選択すると、会社に関連付けられているすべてのケースが表示されます。
 - 正確な日付範囲を選択するか、別の期間を選択して日付範囲を変更します。
 - 列の内容をフィルタリングします。
 - 表に表示される列を変更するには、次に、表示する列を選択します。
4. 既存のケースを管理するには、利用可能なオプションのいずれかを選択します。
 - ケースを表示: 特定のケースに関する詳細をすべて表示します。
 - ケースノートを更新: 問題に関する追加の詳細を入力するか、*ファイルのアップロード*を選択して最大 5 つのファイルを添付します。

添付ファイルはファイルごとに 25 MB までに制限されます。サポートされているファイル拡張子は、txt、log、pdf、jpg/jpeg、rtf、doc/docx、xls/xlsx、csv です。

- ケースを閉じる: ケースを閉じる理由の詳細を入力し、[ケースを閉じる] を選択します。

法律上の表示

法的通知から、著作権情報、商標、特許などを確認できます。

著作権

["https://www.netapp.com/company/legal/copyright/"](https://www.netapp.com/company/legal/copyright/)

商標

NetApp、NetAppのロゴ、NetAppの商標一覧のページに掲載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。

["https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/"](https://www.netapp.com/company/legal/trademarks/)

特許

現在NetAppが所有する特許の一覧は以下のページから閲覧できます。

<https://www.netapp.com/pdf.html?item=/media/11887-patentspage.pdf>

プライバシー ポリシー

["https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/"](https://www.netapp.com/company/legal/privacy-policy/)

オープンソース

通知ファイルには、NetAppソフトウェアで使用するサードパーティの著作権およびライセンスに関する情報が提供されます。

- ["NetApp Consoleに関するお知らせ"](#)
- ["StorageGRIDシステムのNetApp Console管理に関するお知らせ"](#)

著作権に関する情報

Copyright © 2025 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。